

巻頭言「20年記念特別版発刊に寄せて」

多くの皆様の支えにより、インターネット白書は発刊20年の節目を迎えた。編集委員会の企画メンバーを代表し、心より感謝を申し上げる。記念となる2016年版では、インターネットの発展に寄与されている著名な方々に10年後のインターネット社会動向を予想し展望していただく特別企画を行っており、読者にとって一段と興味深い内容に仕上がったことと願う。

近年、インターネットを取り巻く環境は、本白書の「10大キーワード」にみられるようにイノベーションと重大な変化が多様な領域にわたって同時に発生している。スマートデバイス、ウェアラブル、ドローン、コネクティッドカーなど続々と登場する新たな“ユーザー”は、2020年には500億を超えることが予測され、その前提となるのはIPv6による次世代インターネットである。従来をはるかに上回るスケールで増え続ける“ユーザー”から生成されるデータ量は脅威的であり、モバイル、ソーシャルと融合した「IoT」や「人工知能」によるスマートサービスも、モノの価値や人々の行動、ビジネスにパラダイムシフトを起こしている。

「シェアリングエコノミー」に代表されるような、あらゆる分野に革命的なインパクトをもたらすイノベーションは、既存の産業や規制に変革を促しながら、インターネットが産業と社会のデジタル化基盤となる時代の幕開けを告げている。

一方、世界の新たなインターネット利用者層は、新興国の人々や若者を中心としたデジタルネイティブに移りつつある。国連は「2030アジェンダ」を掲げ、人権としてのインターネット利用を次の10億人へ拡大するアクションを示すとともに、先進国を含めた世界全体での持続的成長と発展に向けたテーマとして「インターネット」と「ICT」の重要性を改めて強調している。

このようにインターネットの社会との関わりが深くなった今、明るい未来を展望したインターネット利用の大前提として基盤リソースの信頼性と安定性の確保が求められるだけでなく、テクノロジー、ビジネス、サイバーセキュリティ、ガバナンス、ポリシーが広範かつ複雑に関連する時代を迎え、従来のインターネットコミュニティの仕組みの中で全体を俯瞰することは難しくなっている。

本年度のインターネット白書企画メンバーの一員として、本白書がこうしたグローバルレベルの最新動向を体系的に解説し情報提供すると同時に、日本のインターネットコミュニティのさらなる発展に寄与する有益な情報源として役立てられることを期待してやまない。

2016年1月

一般財団法人インターネット協会（IAJapan）

副理事長 木下 剛



1996, 1997, 1998, 1999, 2000, ...

[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2016年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp